

# 1. ゴルフ場の概況

- 調査開始以来初のゴルフ場数減少 -

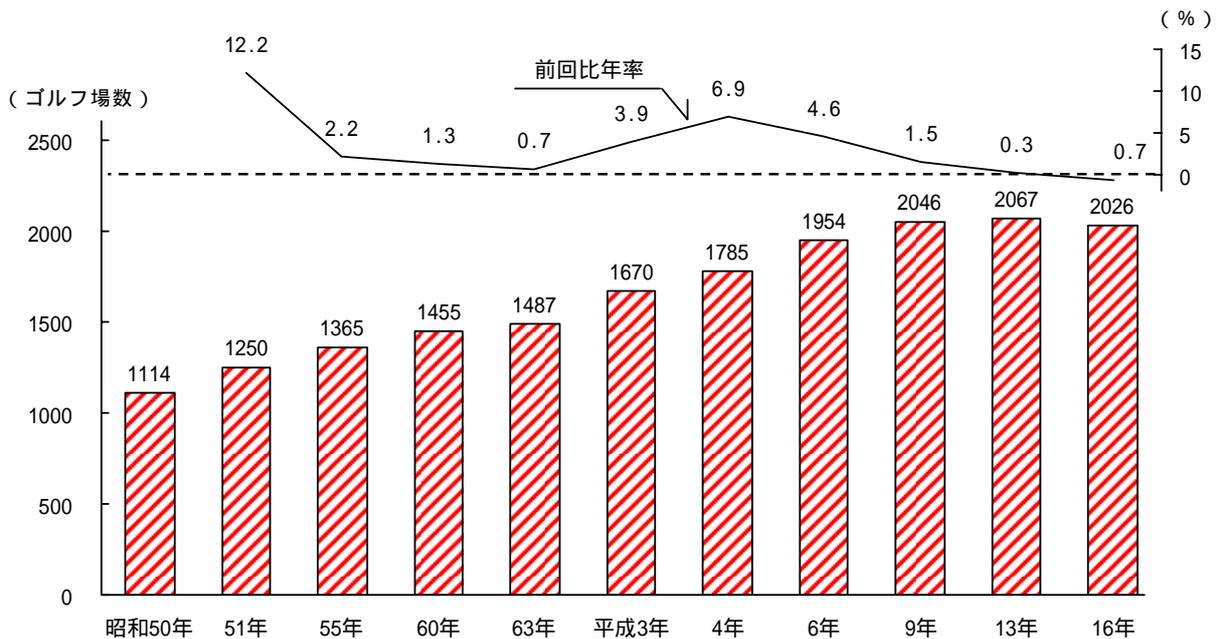
ゴルフ場数	2026ゴルフ場	(対13年比	2.0%減)
就業者数	13万2570人	( "	12.6%減)
年間売上高	9758億円	( "	15.5%減)
1ゴルフ場当たり	4億8166万円	( "	13.8%減)
就業者1人当たり	736万円	( "	3.4%減)
年間利用者数	7388万人	( "	4.1%減)

## 1. ゴルフ場数

平成16年のゴルフ場数は、2026ゴルフ場であった。ゴルフ場の破綻、整理・再生件数は近年増加傾向にあり、前回(平成13年)調査に比べ41ゴルフ場減、前回比2.0%の減少となっている。ゴルフ場数は、第1回調査である昭和50年以降、前回の平成13年調査まで一貫して増加が続いていたものの、平成16年調査で初の減少となった。

また、ホール数は4万1114ホール(前回比1.7%減)、1ゴルフ場当たりのホール数は20.3ホールで前回調査(20.2ホール)よりわずかながら増加した。

ゴルフ場数の推移



### 経営組織別(資本金規模別)

ゴルフ場数を経営組織別にみると、「会社」が1929ゴルフ場(構成比95.2%)とゴルフ場のほとんどを占めており、「会社以外の法人・団体」は91ゴルフ場、「個人」は6ゴルフ場となっている。前回調査と比べ、「会社」が41ゴルフ場の減少となっている。

資本金規模別にゴルフ場数をみると、「5千万円未満」が782ゴルフ場(構成比38.6%)、「1億円以上5億円未満」が547ゴルフ場(同27.0%)、「5千万円以上1億円未満」が397ゴルフ場(同19.6%)、「5億円以上」が203ゴルフ場(同10.0%)と、資本金5千万円以上のゴルフ場が全体の56.6%を占めている。

経営組織別、資本金規模別ゴルフ場数

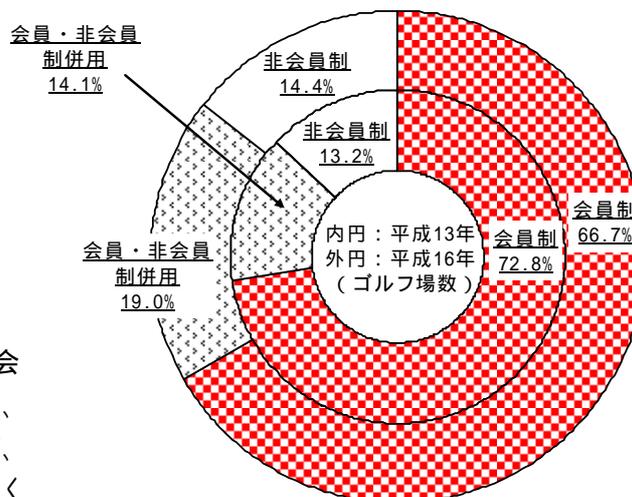
経営組織別、資本金規模別		平成13年	平成16年	構成比 (%)	増減数	前回比 (%)
計		2,067	2,026	100.0	▲ 41	▲ 2.0
会	社	1,970	1,929	95.2	▲ 41	▲ 2.1
資 本 金 規 模	5 千 万 円 未 満	783	782	38.6	▲ 1	▲ 0.1
	5 千 万 円 以 上 1 億 円 未 満	427	397	19.6	▲ 30	▲ 7.0
	1 億 円 以 上 5 億 円 未 満	529	547	27.0	18	3.4
	5 億 円 以 上	231	203	10.0	▲ 28	▲ 12.1
会 社 以 外 の 法 人 ・ 団 体		94	91	4.5	▲ 3	▲ 3.2
個 人		3	6	0.3	3	100.0

運営方法別ゴルフ場数の構成比

運営方法別

ゴルフ場数を運営方法別にみると、「会員制」が 1351 ゴルフ場(構成比 66.7%)と全体の 7 割弱を占めており、「会員・非会員制併用」は 384 ゴルフ場(同 19.0%)、「非会員制」は 291 ゴルフ場(同 14.4%)となっている。

前回調査と比べると、「会員制」が 153 ゴルフ場の減少となる一方で、「会員・非会員制併用」が 93 ゴルフ場増、「非会員制」が 19 ゴルフ場増となるなど、一般利用者が利用できるゴルフ場が多くなっている。

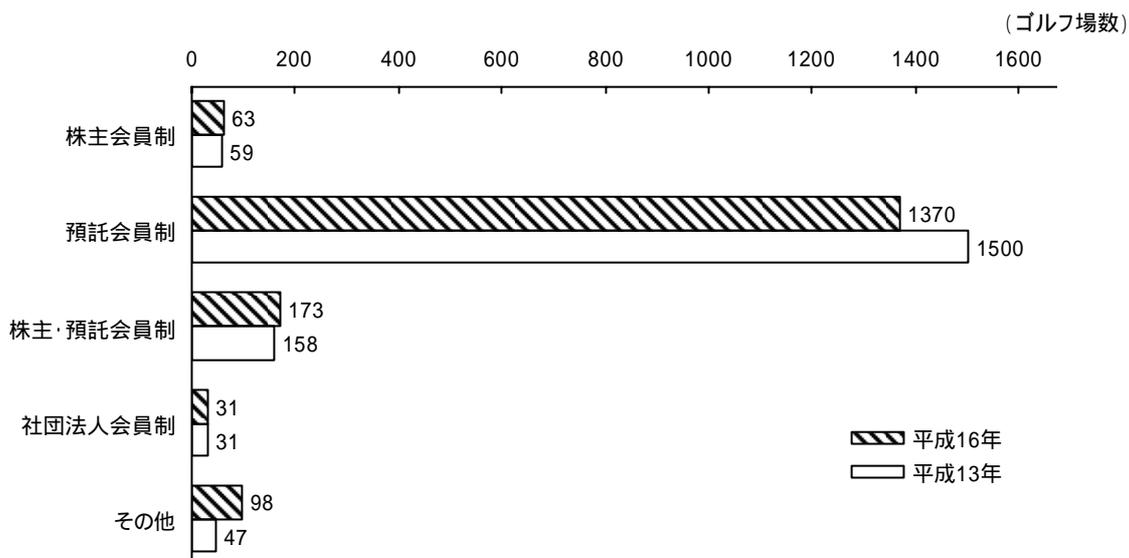


運営方法別ゴルフ場数

運営方法別	平成13年	平成16年	構成比 (%)	増減数	前回比 (%)
計	2,067	2,026	100.0	▲ 41	▲ 2.0
会 員 制	1,504	1,351	66.7	▲ 153	▲ 10.2
会 員 ・ 非 会 員 制 併 用	291	384	19.0	93	32.0
非 会 員 制	272	291	14.4	19	7.0

なお、「会員制」、「会員・非会員制併用」のゴルフ場のうち、「預託会員制」により運営されているゴルフ場は 1370 ゴルフ場と依然、8 割弱の高い割合を示しているものの、前回調査に比べ減少 ( 130 ゴルフ場減) している。これは、ゴルフ場の整理・再生が影響しているものと思われる。

### 会員制、会員・非会員制併用の運営形態別ゴルフ場数



### ホール数規模別

ゴルフ場数をホール数規模別にみると、「18～26ホール」が1438ゴルフ場(構成比71.0%)と全体の約7割を占め、次いで「27～35ホール」が309ゴルフ場(同15.3%)、「36ホール以上」が147ゴルフ場(同7.3%)、「9～17ホール」が132ゴルフ場(同6.5%)であった。

前回調査と比べると、主力の「18～26ホール」(28ゴルフ場減)をはじめ、小規模のゴルフ場では前回は下回っており、「36ホール以上」の大規模が増加している。

なお、1ホール当たりのコース面積をみると、最も面積が大きな規模は「36ホール以上」であるが、次いで大きな面積を有する規模がゴルフ場の最多数である「18～26ホール」となっている。「27～35ホール」は、ホール数を増やすためにコースの距離や幅が狭くなっているものと思われる。

### ホール数規模別ゴルフ場数

ホール数規模別	ゴルフ場数					1ホール当たりのコース面積 平成16年 (m <sup>2</sup> )
	平成13年	平成16年	構成比 (%)	増減数	前回比 (%)	
計	2,067	2,026	100.0	▲41	▲2.0	35,078
9～17ホール	139	132	6.5	▲7	▲5.0	20,131
18～26ホール	1,466	1,438	71.0	▲28	▲1.9	35,612
27～35ホール	318	309	15.3	▲9	▲2.8	34,750
36ホール以上	144	147	7.3	3	2.1	36,345

## 2. 就業者数

平成16年のゴルフ場に従事する就業者数は、13万2570人であった。また、1ゴルフ場当たりの就業者数は65.4人であった。

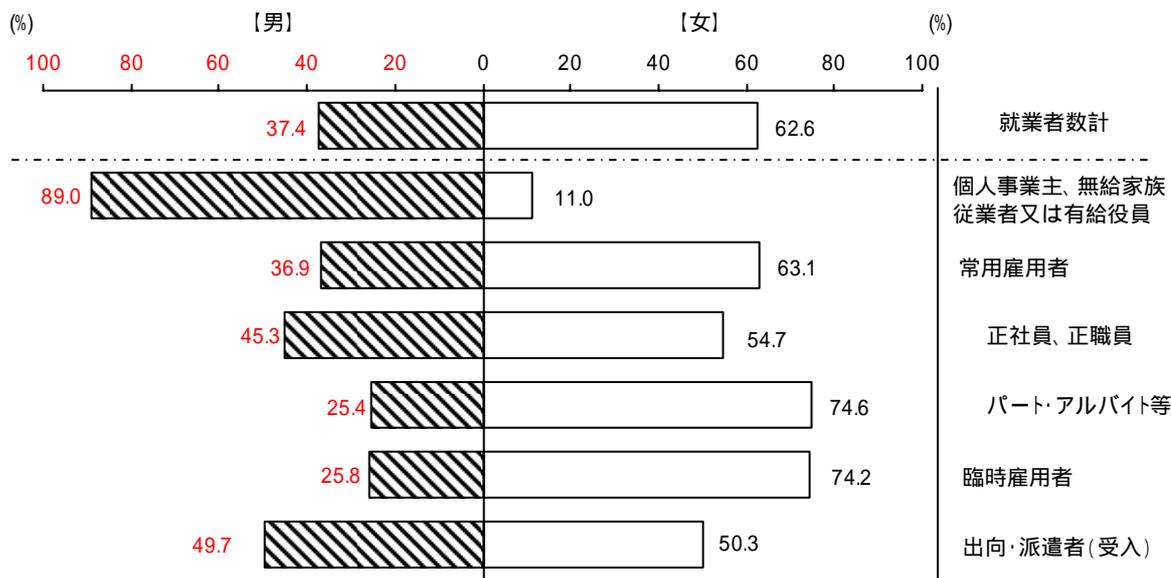
就業者数

男女別、雇用形態別、部門別		平成13年 (人)	平成16年 (人)	構成比 (%)	前回比 (%)
就業者数計		151,607	132,570	100.0	12.6
男女別	男	52,936	49,602	37.4	6.3
	うち、出向・派遣者(受入)	1,904	1,778	1.3	6.6
男女別	女	98,671	82,968	62.6	15.9
	うち、出向・派遣者(受入)	1,263	1,797	1.4	42.3
雇用形態別	個人事業主、無給家族従業者 又は有給役員	2,772	2,375	1.8	14.3
	常用雇用者	135,244	117,466	88.6	13.1
	正社員、正職員	86,826	67,810	51.2	21.9
	パート・アルバイト等	48,418	49,656	37.5	2.6
	臨時雇用者	10,424	9,154	6.9	12.2
部門別	出向・派遣(受入)	3,167	3,575	2.7	12.9
	管理・営業部門	16,367	14,360	10.8	12.3
	フロント部門	10,566	9,828	7.4	7.0
	施設・造園部門	26,343	24,310	18.3	7.7
	キャディ	63,253	50,130	37.8	20.7
	食堂・売店(直営)	20,180	19,873	15.0	1.5
その他	11,731	10,494	7.9	10.5	
出向・派遣(受入)	3,167	3,575	2.7	12.9	

### 男女別

就業者数を男女別にみると、「男」が4万9602人(構成比37.4%)、「女」が8万2968人(同62.6%)と女性就業者が男性を大きく上回っている。ゴルフ場では、常用雇用者、臨時雇用者のいずれも、その半数以上が女性であり、これはキャディ部門に就業する女性が多いことによるものとみられる。

雇用形態別、男女別就業者数の割合



## 雇用形態別

就業者数を雇用形態別にみると、「正社員、正職員」が6万7810人(構成比51.2%)、「パート・アルバイト等」が4万9656人(同37.5%)と、常用雇用者が9割弱を占めており、「臨時雇用者」は9154人(同6.9%)、「個人事業主、無給家族従業者又は有給役員」は2375人(同1.8%)、「出向・派遣者(受入)」は3575人(同2.7%)であった。前回(平成13年)調査と比べ、「正社員、正職員」(前回比21.9%減)で大幅減となり、ゴルフ場における整理・再生の状況がうかがえる。

## 部門別

就業者数を部門別に前回調査と比較すると「出向・派遣(受入)」を除く全ての部門で減少となった。特に多くの就業者が占める「キャディ」部門(構成比37.8%)は1万3123人の減少となり、前回比で20.7%減となった。雇用形態別の「正社員、正職員」の減少が「キャディ」部門の削減につながっているものと思われる。

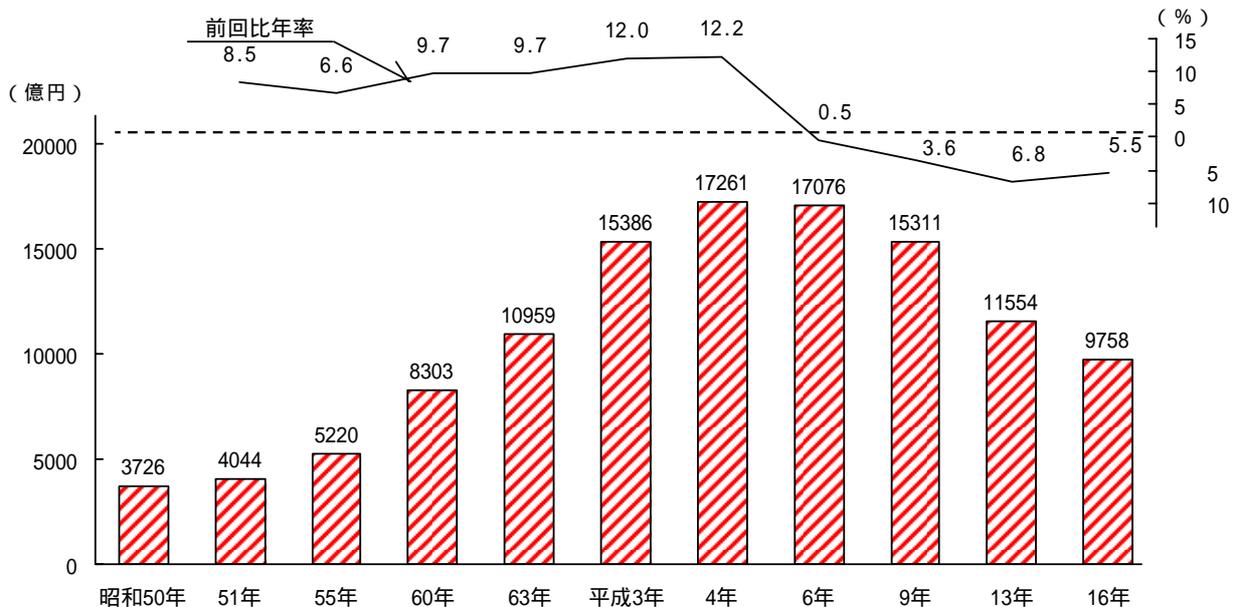
## 3. 年間売上高

平成16年のゴルフ場の年間売上高は、9758億円、前回(平成13年)調査に比べ15.5%の大幅減、平成6年以降、4調査連続の減少となった。

ゴルフ場の年間売上高の推移をみると、平成4年調査をピークとして減少に転じている。バブル崩壊を契機とする利用者の減少に加え、利用料金の引き下げ、割引などの動きもあり、売上高の低迷に歯止めがかかっていない。

なお、1ゴルフ場当たりの年間売上高は4億8166万円(前回比13.8%減)、ゴルフ場に従事する就業者1人当たりの年間売上高は736万円(同3.4%減)であった。

年間売上高の推移



## 収入区分別

年間売上高を収入区分別にみると、「利用料金(グリーンフィ・諸経費)収入」が4840億円(構成比49.6%)、「キャディフィ収入」が1532億円(同15.7%)で、これらを合わせた料金収入が6割を超えている。以下、「食堂・売店(直営)売上収入」が1470億円(同15.1%)、委託経営の食堂・売店収入や直営の宿泊施設による収入などを含む「その他の収入」が927億円(同9.5%)と続いている。

前回調査と比べると、利用者数の減少に加えて、利用料金の引き下げ、割引、キャディプレーからセルフプレーへの変化等から、「その他の収入」を除くすべての収入区分が減少となっている。

収入区分別年間売上高

収入区分別	平成13年	平成16年	構成比 (%)	前回比 (%)
	(百万円)	(百万円)		
計	1,155,408	975,846	100.0	15.5
利用料金(グリーンフィ・諸経費)収入	591,689	484,043	49.6	18.2
キャディフィ収入	198,424	153,154	15.7	22.8
名義書換料収入	41,850	35,795	3.7	14.5
年会費収入	64,487	63,185	6.5	2.0
食堂・売店(直営)売上収入	170,799	146,951	15.1	14.0
その他の収入	88,160	92,720	9.5	5.2

## 運営方法別

年間売上高を運営方法別にみると、「会員制」が構成比で75.4%を占め、「会員・非会員制」(構成比14.0%)、「非会員制」(同10.6%)の順となっている。

前回調査と比べると、「会員制」では主力の「預託会員制」が前回比24.7%と大幅に減少し、「株主・預託会員制」(同10.0%減)も減少したことから同20.6%の大幅減少となった。また、「非会員制」も同8.3%と減少した。一方、「会員・非会員制併用」では、「会員制」から移行したゴルフ場などの増加により同17.8%の増加となった。

運営方法別年間売上高

運営方法別	年間売上高			
	平成13年	平成16年	構成比 (%)	前回比 (%)
計	1,155,408	975,846	100.0	▲15.5
会員制	926,326	735,465	75.4	▲20.6
株主会員制	38,045	33,965	3.5	▲10.7
預託会員制	778,757	586,617	60.1	▲24.7
株主・預託会員制	78,398	70,562	7.2	▲10.0
社団法人会員制	20,025	18,992	1.9	▲5.2
その他	11,101	25,329	2.6	128.2
会員・非会員制併用	115,919	136,610	14.0	17.8
株主会員制	496	1,818	0.2	266.5
預託会員制	97,465	110,295	11.3	13.2
株主・預託会員制	10,295	10,136	1.0	▲1.5
社団法人会員制、その他	7,662	14,362	1.5	87.4
非会員制	113,163	103,772	10.6	▲8.3

## 就業者規模別

年間売上高を就業者規模別にみると、「100人以上」が前回比 30.2%の減少、「50～99人」が同 14.9%の減少と大規模事業が大幅に減少しているのに対して、「30人～49人」が同 21.3%の増加、「10～29人」が同 16.5%の増加と小規模・中規模事業所で大幅な増加となった。

就業者規模別の年間売上高

就業者規模別	平成13年 (百万円)	平成16年 (百万円)	16年単位当たりの年間売上高	
			構成比 (%)	前回比 (%)
年間売上高計	1,155,408	975,846	100.0	▲ 15.5
1人～9人	3,811	4,234	0.4	11.1
10人～29人	48,537	56,532	5.8	16.5
30人～49人	113,479	137,693	14.1	21.3
50人～99人	567,154	482,513	49.4	▲ 14.9
100人以上	422,428	294,874	30.2	▲ 30.2

## ホール数区分別

年間売上高をホール数区分別にみると、主力の「18～26ホール」が 6206 億円(構成比 63.6%)と最も大きく、以下、「27～35ホール」が 1984 億円(同 20.3%)、「36ホール以上」が 1449 億円(同 14.8%)と続いている。

1ホール当たりの年間売上高は、「36ホール以上」が 2560 万円と最も高く、次いで「18～26ホール」が 2397 万円、「27～35ホール」が 2378 万円となっており、この3規模では極端な差はないものの、「9～17ホール」では 978 万円と著しく低くなっている。

また、就業者 1 人当たりの年間売上高では、ホール数が多くなるほど高くなっているものの、ホール数区分による差は顕著ではない。

ホール数区分別年間売上高

ホール数区分	年間売上高				単位当たりの年間売上高	
	平成13年 (百万円)	平成16年 (百万円)	構成比 (%)	前回比 (%)	1ホール 当たり (万円)	就業者1人 当たり (万円)
計	1,155,408	975,846	100.0	▲ 15.5	2,374	736
9～17ホール	14,870	11,962	1.2	▲ 19.6	978	572
18～26ホール	742,884	620,566	63.6	▲ 16.5	2,397	719
27～35ホール	231,181	198,424	20.3	▲ 14.2	2,378	760
36ホール以上	166,474	144,894	14.8	▲ 13.0	2,560	804

## 4. 利用者数

平成 16 年のゴルフ場の年間利用者数は、7388 万人、前回(平成 13 年)調査に比べ 4.1%減( 316 万人減)と、年間売上高と同様 4 調査連続の減少であった。

### 会員・非会員別

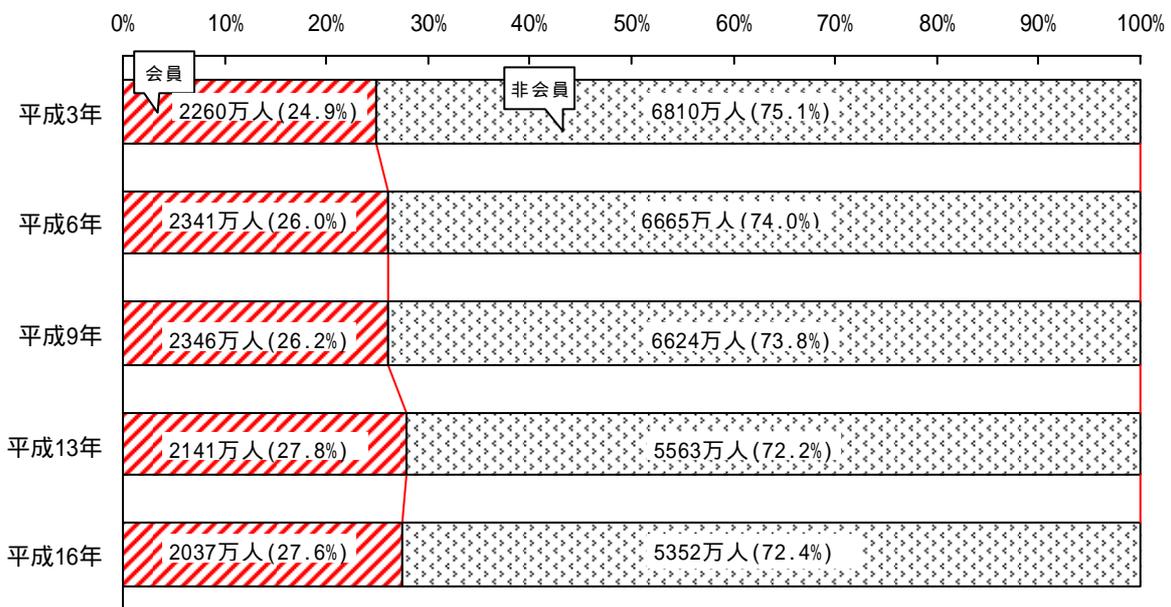
年間利用者数を会員・非会員別にみると、「会員」は 2037 万人、前回比 4.9%減と、前回(13 年の前回比 8.7%減)に引き続き減少となった。利用者数の約 7 割を占める「非会員」は 5352 万人、同 3.8%減と 4 調査連続の減少となった。

会員・非会員別年間利用者数

会員・非会員別	平成13年 (千人)	平成16年 (千人)	構成比	
			(%)	前回比 (%)
計	77,041	73,884	100.0	▲ 4.1
会 員	21,412	20,369	27.6	▲ 4.9
非 会 員	55,629	53,515	72.4	▲ 3.8

会員・非会員別の推移をみると、バブル期以降の利用者の減少もあり、会員、非会員ともに利用者数は減少している。構成比の推移をみると、「非会員」の利用者割合は相対的に縮小が続いていたが、利用料金の引き下げ、割引などから非会員の減少幅が縮小したこともあって、下げ止まっている。

会員・非会員別年間延利用者数構成比の推移



ホール数区分別

年間利用者数をホール数区分別にみると、主力の「18～26ホール」が4712万人と全体の6割以上を占め、「27～35ホール」が2割弱、「36ホール以上」が約1割強を占めている。

1ゴルフ場当たりの年間利用者数は、「36ホール以上」が6万6512人と最も多く、ゴルフ場数の最も多い「18～26ホール」は3万2770人となっている。

前回調査に比べ、すべての区分で減少となっているが、「36ホール以上」の大規模ゴルフ場はゴルフ場数が増加しているため減少率が小幅にとどまっております、構成比を拡大させている。

ホール数区分別年間利用者数

ホール数区分別	平成13年 (千人)	平成16年 (千人)	構成比		1ゴルフ場当たりの年間利用者数	
			(%)	前回比 (%)	平成13年 (人)	平成16年 (人)
年間延利用者数計	77,041	73,884	100.0	▲ 4.1	37,272	36,468
9ホール～17ホール	2,494	2,278	3.1	▲ 8.6	17,940	17,260
18ホール～26ホール	49,242	47,123	63.8	▲ 4.3	33,589	32,770
27ホール～35ホール	15,372	14,706	19.9	▲ 4.3	48,338	47,592
36ホール以上	9,934	9,777	13.2	▲ 1.6	68,988	66,512

## 5. 会員数

平成 16 年のゴルフ場の総会員数は、281 万 8158 人、前回(平成 13 年)調査に比べ、4.4%の減少となった。会員別にみると、「正会員」は256 万 4128 人、前回比 3.2%の減少に対して、「平日会員」は25 万 4030 人、同 15.3%と、大幅な減少となった。

会員数は減少傾向にあるが、「会員制」から移行した「会員・非会員制併用」の会員数は43 万 5926 人、同 38.0%の増加と会員数を大幅に拡大させており、「正会員」、「平日会員」とともに増加となった。

また、1 ゴルフ場当たりの会員数は、1624 人、前回比 1.1 の減少となった。

運営方法別、会員別会員数

運営方法別	平成13年			平成16年			前回比(%)		
	計	会員制	会員・非会員制併用	計	会員制	会員・非会員制併用	計	会員制	会員・非会員制併用
会員制を導入しているゴルフ場数	1,795	1,504	291	1,735	1,351	384	▲ 3.3	▲ 10.2	32.0
会員数計	2,947,839	2,631,923	315,916	2,818,158	2,382,232	435,926	▲ 4.4	▲ 9.5	38.0
正会員	2,648,038	2,351,700	296,338	2,564,128	2,158,663	405,465	▲ 3.2	▲ 8.2	36.8
法人会員	538,946	477,467	61,479	503,404	427,007	76,397	▲ 6.6	▲ 10.6	24.3
個人会員	2,109,092	1,874,233	234,859	2,060,724	1,731,656	329,068	▲ 2.3	▲ 7.6	40.1
平日会員	299,801	280,223	19,578	254,030	223,569	30,461	▲ 15.3	▲ 20.2	55.6
法人会員	28,528	27,002	1,526	20,543	17,456	3,087	▲ 28.0	▲ 35.4	102.3
個人会員	271,273	253,221	18,052	233,487	206,113	27,374	▲ 13.9	▲ 18.6	51.6
1 ゴルフ場当たりの会員数	1,642	1,750	1,086	1,624	1,763	1,135	▲ 1.1	0.7	4.6

## 6. 利用料金

平成 16 年のゴルフ場の平均利用料金(18 ホールグリーンフィーの単純平均)をみると、会員制ゴルフ場(会員・非会員制併用ゴルフ場を含む)における「法人正会員」は、「平日」1332 円、「土曜日」1519 円、「日曜・祝祭日」1520 円となり、「個人正会員」では、「平日」1262 円、「土曜日」1331 円、「日曜・祝祭日」1347 円であった。

ゴルフ場の平均利用料金を前回(平成 13 年)調査と比較すると、会員制ゴルフ場における非会員(ビジター)と非会員制ゴルフ場の平均利用料金は、いずれの曜日においても低下となった。「法人正会員」はいずれの曜日にも前回とほぼ同じ、「個人正会員」については、前回に引き続き変わらずかながらの上昇となった。また、「平日会員」については、「法人」、「個人」とも低下となっている。

運営方法別曜日別平均利用料金

運営方法別	平成13年(円)			平成16年(円)			増減額(円)			
	平日	土曜日	日曜・祝祭日	平日	土曜日	日曜・祝祭日	平日	土曜日	日曜・祝祭日	
会員制	法人正会員	1,332	1,532	1,531	1,332	1,519	1,520	0	▲ 13	▲ 11
	法人平日会員	1,183	5,499	-	1,103	3,782	-	▲ 80	▲ 1,717	-
	個人正会員	1,231	1,293	1,297	1,262	1,331	1,347	31	38	50
	個人平日会員	1,244	4,984	-	1,175	3,461	-	▲ 69	▲ 1,523	-
非会員制	7,529	13,560	13,397	6,489	12,031	11,991	▲ 1,040	▲ 1,529	▲ 1,406	
非会員制	6,058	10,625	10,458	5,397	9,416	9,241	▲ 661	▲ 1,209	▲ 1,217	

## 7. 預託金の状況

預託金状況をみると、満了している会員が151万9千人、前回(平成13年)比8.8%減、措置期間中の会員は90万5千人、同9.8%の減少となった。預託金額は5兆7756億円であった。

預託金の状況

	平成9年		平成13年		平成16年			
	会員数 (人)	預託金額 (億円)	会員数 (人)	預託金額 (億円)	会員数 (人)	預託金額 (億円)	前回比(%)	
							会員数	預託金
計	2,635,986	102,055	2,668,673	90,898	2,424,063	57,756	▲9.2	▲36.5
満了している会員	1,656,220	36,687	1,664,966	40,200	1,518,682	31,396	▲8.8	▲21.9
措置期間中の会員	979,766	65,369	1,003,707	50,698	905,381	26,360	▲9.8	▲48.0

## 8. 年間営業費用

ゴルフ場業務を営む事業所の年間営業費用は、9301億円、年間売上高に占める営業費用比率は95.3%であった。内訳をみると、「給与支給総額」が3592億と営業費用全体の約4割を占め、次いで「その他の営業費用」が3198億円(構成比34.4%)、「コース施設管理費」が1018億円(同10.9%)、「食堂・売店(直営)売上原価」が752億円(同8.1%)などとなっている。

年間営業費用

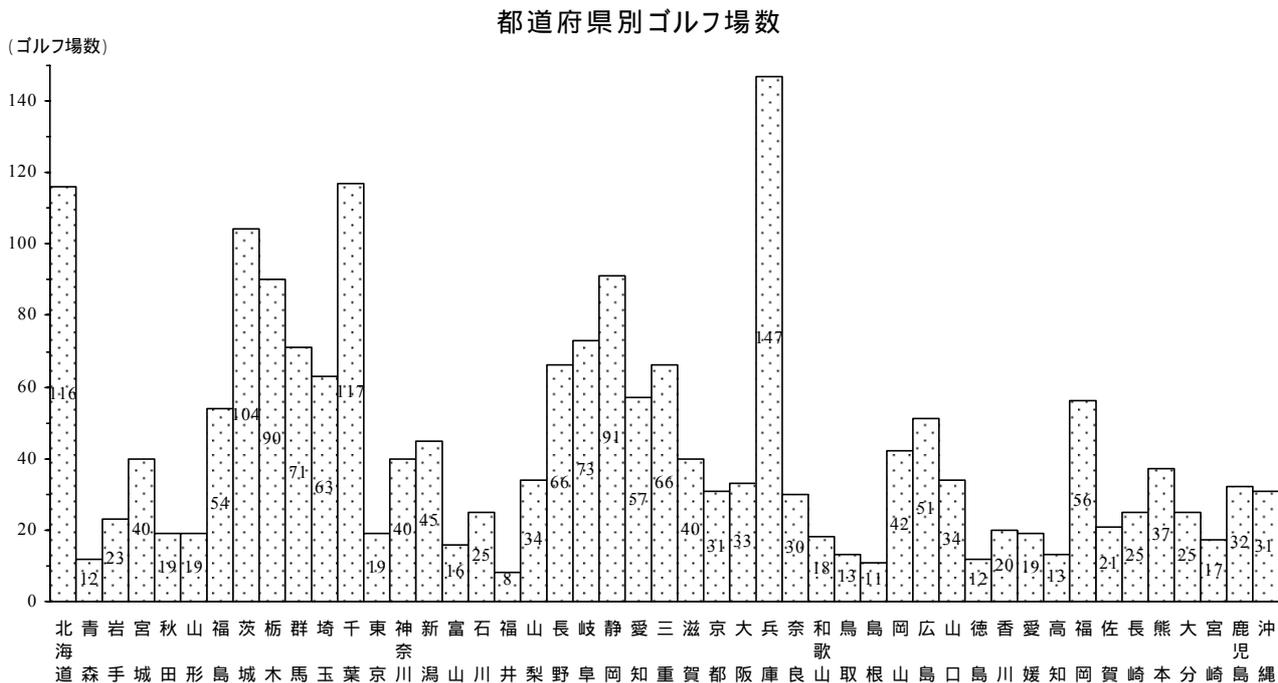
費用区別	平成13年 (百万円)	平成16年 (百万円)	構成比 (%)	前回比 (%)
年間営業費用計	1,127,656	930,105	100.0	▲17.5
給与支給総額	465,952	359,198	38.6	▲22.9
コース施設管理費	128,060	101,800	10.9	▲20.5
賃借料	90,032	74,149	8.0	17.6
土地・建物	71,704	57,188	6.1	▲20.2
機械・装置	18,328	16,961	1.8	7.5
食堂・売店(直営)売上原価	80,381	75,167	8.1	▲6.5
その他の営業費用	363,231	319,792	34.4	▲12.0

9. 都道府県別の動向

ゴルフ場数

ゴルフ場数を都道府県別にみると、兵庫が147ゴルフ場(構成比7.3%)、千葉117ゴルフ場(同5.8%)、北海道116ゴルフ場(同5.7%)、茨城104ゴルフ場(同5.1%)の順で、これら4県が100ゴルフ場以上となっている。以下、静岡、栃木、岐阜、群馬と続いており、上位を占めているのは政令指定都市を抱える県や関東周辺の県であり、逆に東北・北陸・四国地方の県では、ゴルフ場が少ない。

ゴルフ場数を前回(平成13年)調査と比べると、長野、静岡、兵庫、茨城など18県で増加、一方、北海道、千葉、宮崎、岐阜など21県で減少、8県は横ばいであった。



## 年間売上高

年間売上高を都道府県別にみると、千葉が 845 億円と全国の 8.7%を占め、以下、兵庫 807 億円(構成比 8.3%)、茨城 562 億円(同 5.8%)、静岡 515 億円(同 5.3%)、埼玉 463 億円(同 4.7%)の順と続いているが、これら上位 5 県合わせても全国の 33%程度であり、ゴルフ場の年間売上高は比較的各県に分散している。

年間売上高を前回調査と比べると、長野と京都を除き、45 県で減少しており、ほとんどの県で 2 桁台の大幅な減少となっている。

なお、1 ゴルフ場当たりの年間売上高は、神奈川が 9 億円 7819 万円と最も大きく、次いで東京の 9 億 6829 万円となっている。

都道府県別年間売上高

順位	都道府県	ゴルフ場数	年間売上高 (百万円)	構成比 (%)	前回比 (%)	年間 利用者数 (千人)	1 ゴルフ場当たり	
							年間 売上高 (万円)	年間 利用者数 (人)
全	国 計	2,026	975,846	100.0	▲ 15.5	73,884	48,166	36,468
1位	千葉	117	84,450	8.7	▲ 12.6	5,431	72,179	46,422
2位	兵庫	147	80,691	8.3	▲ 10.8	5,682	54,892	38,651
3位	茨城	104	56,188	5.8	▲ 6.7	4,069	54,027	39,128
4位	静岡	91	51,529	5.3	▲ 1.2	3,447	56,625	37,883
5位	埼玉	63	46,284	4.7	▲ 17.3	2,937	73,466	46,620
6位	栃木	90	40,720	4.2	▲ 20.8	3,124	45,244	34,706
7位	神奈川	40	39,127	4.0	▲ 21.0	2,172	97,819	54,296
8位	三重	66	35,739	3.7	▲ 15.2	2,758	54,150	41,788
9位	北海道	116	35,431	3.6	▲ 10.4	3,082	30,544	26,567
10位	岐阜	73	34,364	3.5	▲ 28.3	2,695	47,073	36,920
11位	愛知	57	33,845	3.5	▲ 14.8	2,403	59,378	42,149
12位	福岡	56	29,656	3.0	▲ 15.5	2,418	52,957	43,171
13位	群馬	71	28,122	2.9	▲ 15.1	2,400	39,608	33,801
14位	長野	66	24,051	2.5	4.8	1,738	36,440	26,333
15位	大阪	33	23,036	2.4	▲ 21.9	1,646	69,806	49,871
16位	滋賀	40	22,931	2.3	▲ 28.8	1,676	57,327	41,899
17位	広島	51	19,956	2.0	▲ 11.9	1,705	39,129	33,423
18位	山梨	34	18,580	1.9	▲ 3.8	1,171	54,647	34,446
19位	東京	19	18,397	1.9	▲ 7.0	937	96,829	49,300
20位	奈良	30	17,075	1.7	▲ 20.4	1,215	56,917	40,483
21位	京都	31	16,671	1.7	0.9	1,230	53,778	39,686
22位	福島	54	16,218	1.7	▲ 9.1	1,300	30,034	24,081
23位	沖縄	31	15,714	1.6	▲ 1.3	1,566	50,691	50,517
24位	新潟	45	15,172	1.6	▲ 13.8	1,154	33,716	25,633
25位	岡山	42	14,120	1.4	▲ 29.8	1,200	33,618	28,561
26位	鹿児島	32	13,374	1.4	▲ 5.0	1,131	41,794	35,357
27位	熊本	37	13,256	1.4	▲ 29.3	1,435	35,827	38,796
28位	山口	34	12,454	1.3	▲ 26.5	1,188	36,631	34,950
29位	宮城	40	12,360	1.3	▲ 20.0	1,069	30,899	26,717
30位	石川	25	11,490	1.2	▲ 19.6	914	45,961	36,563
31位	香川	20	8,221	0.8	▲ 23.6	776	41,103	38,783
32位	愛媛	19	7,934	0.8	▲ 22.8	669	41,759	35,237
33位	大分	25	7,733	0.8	▲ 16.1	812	30,932	32,489
34位	長崎	25	7,145	0.7	▲ 16.9	733	28,580	29,338
35位	富山	16	6,915	0.7	▲ 16.2	550	43,219	34,400
36位	佐賀	21	6,891	0.7	▲ 10.3	725	32,812	34,524
37位	岩手	23	6,593	0.7	▲ 11.8	586	28,665	25,477
38位	高知	13	6,073	0.6	▲ 19.2	521	46,715	40,070
39位	徳島	12	6,016	0.6	▲ 16.3	518	50,136	43,190
40位	和歌山	18	5,602	0.6	▲ 41.9	595	31,120	33,028
41位	宮崎	17	5,217	0.5	▲ 55.8	624	30,690	36,725
42位	秋田	19	4,190	0.4	▲ 3.0	400	22,053	21,065
43位	青森	12	3,639	0.4	▲ 29.8	287	30,328	23,886
44位	福井	8	3,608	0.4	▲ 37.5	301	45,104	37,565
45位	山形	19	3,373	0.3	▲ 21.5	372	17,755	19,567
46位	島根	11	2,949	0.3	▲ 22.2	268	26,806	24,366
47位	鳥取	13	2,746	0.3	▲ 37.9	256	21,122	19,667

## 利用者数

年間利用者数を都道府県別にみると、兵庫が568万人と最も多く、次いで千葉の543万人となっており、この上位2県が年間利用者500万人超の県となっている。

1ゴルフ場当たりの年間利用者数は、神奈川が5万4296人、沖縄が5万517人となっており、この上位2県が5万人超となっている。また、北海道・東北地方の県は、軒並み3万人以下と積雪による冬期閉鎖などから利用者数は少ない。

都道府県別1ゴルフ場当たりの年間利用者数

